

第127回

2016. 11. 18

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業313社、回答企業192社、回答率61.3%
調査対象期間	2016年7～9月期の実績、10～12月期および2017年1～3月期の予想
調査時点	2016年10月上旬～下旬

要約

7～9月期の業況判断はやや悪化 10～12月期は改善の一方、明年1～3月期は悪化する見通し

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、業況判断BSIは、4～6月期と比べ7～9月期（前期→当期：△13→△18）はやや悪化した。また、前回調査時の予想（△10）と比べても悪化している。業種別にみると、製造業（同：△6→△22）が悪化した一方で、非製造業（同：△16→△16）は横ばいとなっている。

先行きについては、10～12月期の業況判断（6）は、改善を予想する企業の比率が上昇していることなどから、改善する見通しである。一方、2017年1～3月期の業況判断（△14）は再び悪化する見通しである。

7～9月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期とほぼ横ばいであったが、総投資額は製造業、非製造業とも減少幅が大きく前年同期比48.0%減の約144億円となった。先行き10～12月期の計画は、実施企業の比率が前年同期と比べやや上昇するものの、金額は同15.4%減の見込みとなっている。

今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業ともやや悪化している。

1. 概況 (全産業)

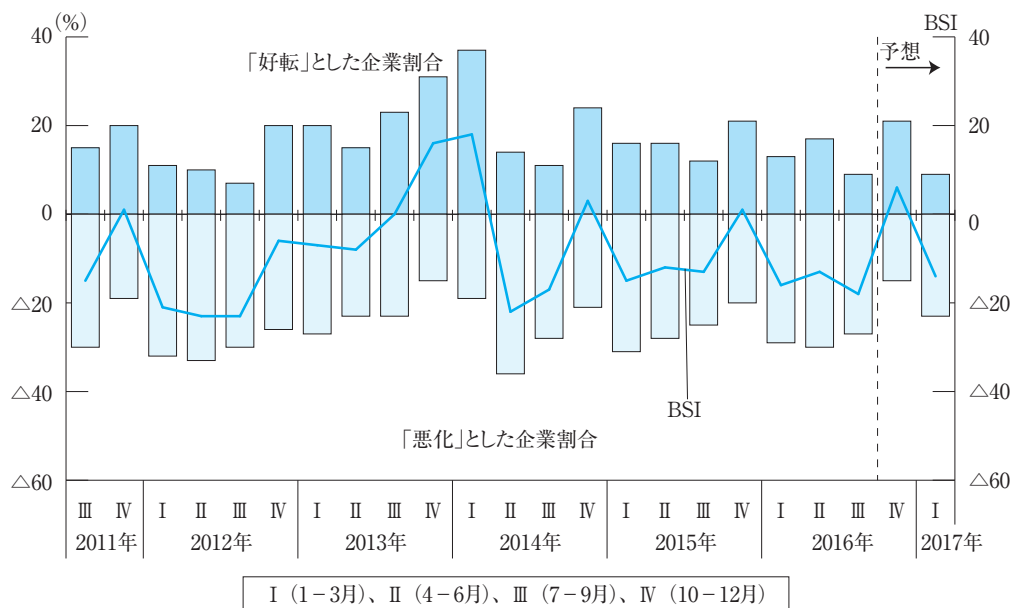
【2016年7～9月期の実績】 業況判断はやや悪化し、前回調査時予想よりも下回る

県内企業の当期（2016年7～9月期、以下同じ）の業況判断は、前期と比べ好転とした企業の比率が低下したことから、やや悪化した。

B S I（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値）でみると、前期に比べ、売上げB S Iは $\Delta 12 \rightarrow \Delta 6$ 、収益B S Iは $\Delta 13 \rightarrow \Delta 9$ とともに改善した。一方、業況判断B S Iは $\Delta 13 \rightarrow \Delta 18$ となり、前回調査時の7～9月期予想（ $\Delta 10$ ）よりも下回っている。

7～9月期の業況判断B S Iを2011年からみると、 $\Delta 15 \rightarrow \Delta 23 \rightarrow \pm 0 \rightarrow \Delta 17 \rightarrow \Delta 13 \rightarrow \Delta 18$ （今回）となっている。足踏みの状況で推移している景気を反映し、前年同期よりもやや悪化した。

企業経営者による業況判断



— 図の見方 —

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転（増加）」「不変」「悪化（減少）」の回答を求めており、B S Iはこのうち「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このB S Iから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点（景気の山、谷）や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみるのが可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

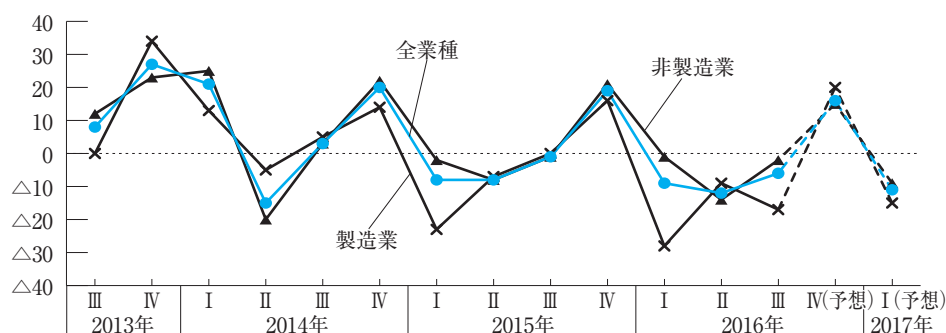
【2016年10～12月期の予想】 業況判断は改善する見通し

10～12月期の予想は、7～9月期に比べ、全業種の売上げBSI ($\Delta 6 \rightarrow 16$)、収益BSI ($\Delta 9 \rightarrow 13$)、業況判断BSI ($\Delta 18 \rightarrow 6$) とともに改善の見通しとなっている。また、この業況判断BSIは、前年同期の実績(1)をやや上回っている。

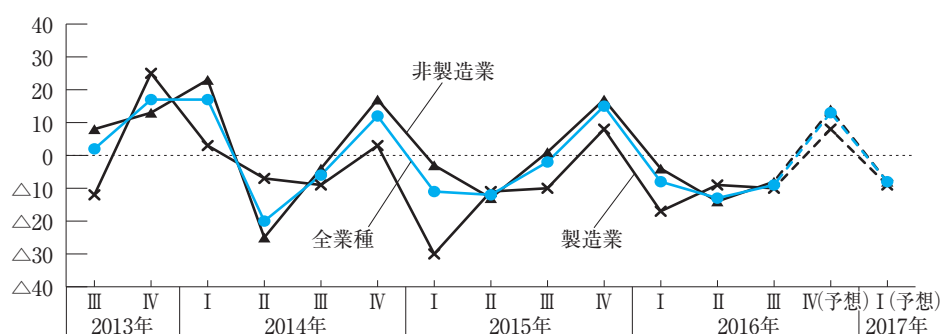
【2017年1～3月期の予想】 業況判断は再び悪化する見通し

2017年1～3月期の予想は、10～12月期に比べ、売上げBSI ($16 \rightarrow \Delta 11$)、収益BSI ($13 \rightarrow \Delta 8$)、業況判断BSI ($6 \rightarrow \Delta 14$) とともに悪化する見通し。また、この業況判断BSIは前年同期実績($\Delta 16$) とほぼ横ばいとなっている。

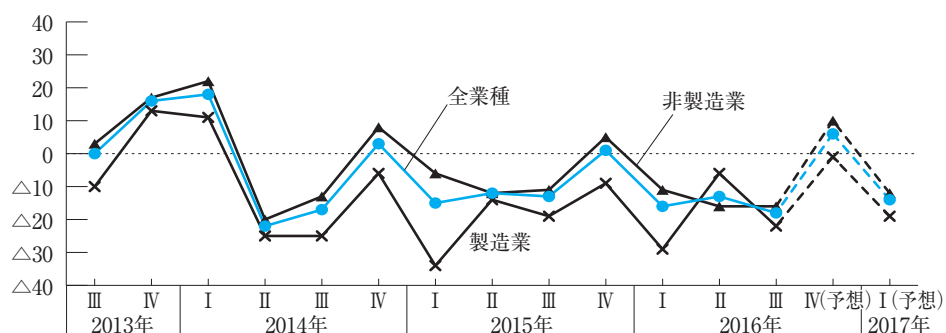
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

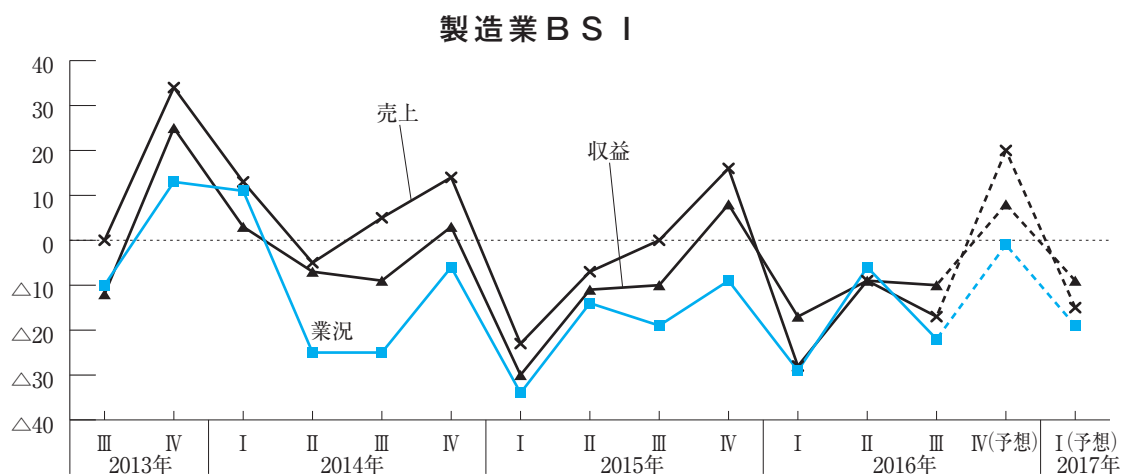
【製造業の現状】 業況判断は悪化し、前回調査時予想と比べてもやや悪化

前期に比べ、収益B S I ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 10$ (前回調査時の予想 $\Delta 10$)) はほぼ横ばいであったが、売上げB S I ($\Delta 9 \rightarrow \Delta 17$ (同 $\Delta 16$))、業況判断B S I ($\Delta 6 \rightarrow \Delta 22$ (同 $\Delta 19$)) はともに悪化した。前年同期と比べても、収益B S I ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 10$) が横ばいの一方、売上げB S I ($\pm 0 \rightarrow \Delta 17$)、業況判断B S I ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 22$) は悪化している。

【先 行 き】 業況判断は、10～12月期は改善の一方、1～3月期は悪化する見通し

10～12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げB S I ($\Delta 17 \rightarrow 20$)、収益B S I ($\Delta 10 \rightarrow 8$)、業況判断B S I ($\Delta 22 \rightarrow \Delta 1$) はともに改善する見通し。また、この業況判断B S Iの予想は、前年同期 ($\Delta 9$) よりも8ポイント上回っている。

一方、2017年1～3月期の予想は、10～12月期予想に比べ、売上げB S I ($20 \rightarrow \Delta 15$)、収益B S I ($8 \rightarrow \Delta 9$)、業況判断B S I ($\Delta 1 \rightarrow \Delta 19$) とともに悪化する見通し。もっとも、この業況判断B S Iの予想は前年同期 ($\Delta 29$) を10ポイント上回っている。



3. 非製造業の動向

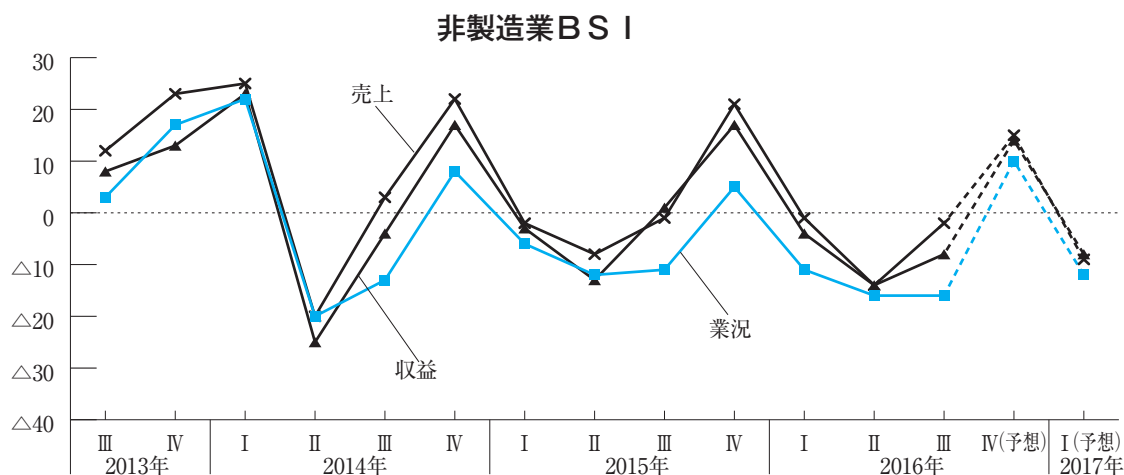
【非製造業の現状】 業況判断は横ばいだが、前回調査時予想よりも低い水準

前期に比べ、売上げB S I ($\Delta 14 \rightarrow \Delta 2$ (前回調査時の予想4))、収益B S I ($\Delta 14 \rightarrow \Delta 8$ (同1)) はともに改善の一方、業況判断B S I ($\Delta 16 \rightarrow \Delta 16$ (同 $\Delta 6$)) は横ばいとなった。前年同期と比べると、売上げB S I ($\Delta 1 \rightarrow \Delta 2$) はほぼ横ばいの一方、収益B S I ($1 \rightarrow \Delta 8$)、業況判断B S I ($\Delta 11 \rightarrow \Delta 16$) はともに悪化している。

【先 行 き】 業況判断は、10～12月期は改善の一方、1～3月期とも悪化する見通し

10～12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI ($\Delta 2 \rightarrow 15$)、収益BSI ($\Delta 8 \rightarrow 14$)、業況判断BSI ($\Delta 16 \rightarrow 10$) はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期(5)を5ポイント上回っている。

一方、2017年1～3月期の予想は、10～12月期予想に比べ、売上げBSI ($15 \rightarrow \Delta 9$)、収益BSI ($14 \rightarrow \Delta 8$)、業況判断BSI ($10 \rightarrow \Delta 12$) とともに悪化の見通し。この業況判断BSIの予想は、前年同期($\Delta 11$)とほぼ横ばいとなっている。

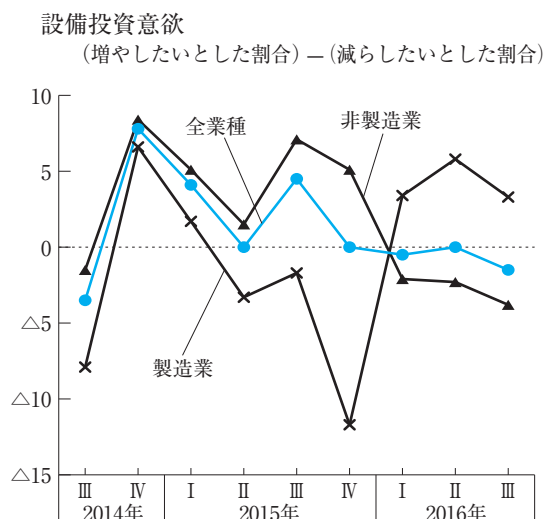


4. 設備投資の動向

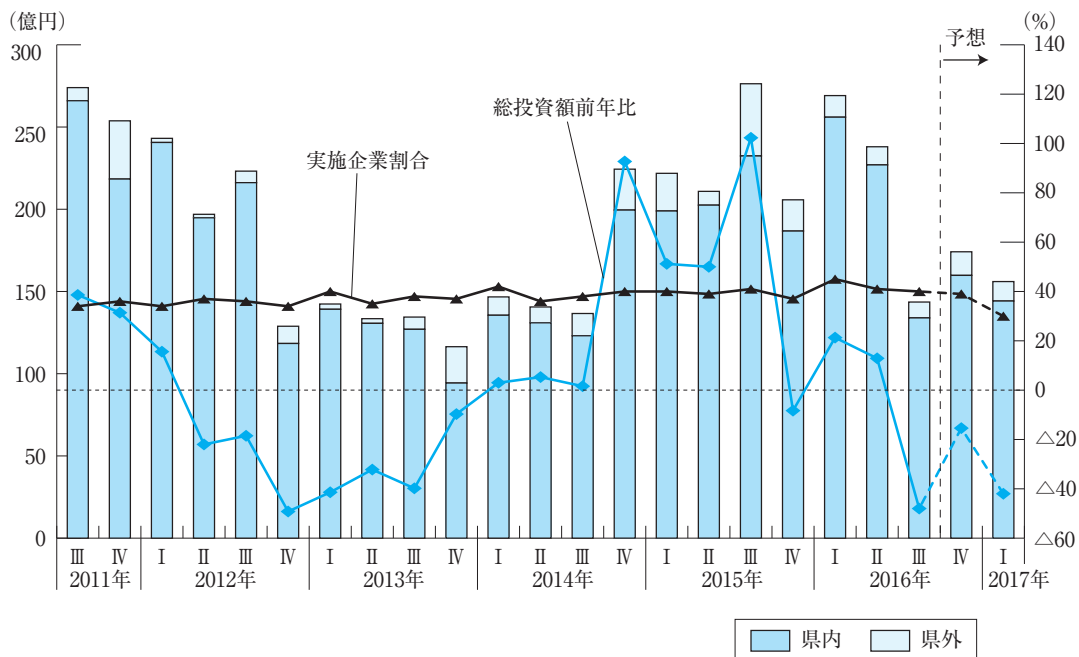
回答企業(全産業)のうち、当期において1百万円以上の設備投資(新規リース契約を含む)を実施した企業は全体の40.1%、総投資額は143億円58百万円(うち、県内投資額は133億93百万円)であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業ともに大幅に減少したことから、全体でも48.0%減となった(前期比でも39.7%減)。また、実施企業の割合はほぼ横ばいの0.8ポイント低下となっている。

先行きの計画をみると、10～12月期の実施企業割合は39.1%で前年同期を上回るが、総投資額は約174億円で前年同期比15.4%減となる見込みである。2017年1～3月期の総投資額は、約156億円で同42.0%減の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲(全産業)は、「増やしたい」が14.1%、「減らしたい」が15.6%、「ほぼ変わらない」が70.3%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率($\Delta 1.5$ ポイント)は、前期(± 0.0 ポイント)と比べやや低下している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、46.7%で前年同期より4.2ポイント低下した。また、総投資額は、122億85百万円（同231億13百万円）で大手の電気機械を中心に前年同期比46.8%減、うち県内投資額は117億38百万円（同214億49百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」の比率が上昇した一方、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」は低下している。

先行きの計画については、10～12月期の総投資額は約146億円で前年同期比18.7%減、2017年1～3月期も約129億円で同46.2%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合（20.0%）が「減らしたい」とする企業割合（16.7%）を3.3ポイント上回った。もっとも、この差は3期ぶりに低下した。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、37.1%で前年同期とほぼ横ばいの0.4ポイント上昇となった。一方、総投資額は20億73百万円（同45億19百万円）で、太陽光発電関連投資や店舗新設などが目立った前年からの反動により、前年同期比54.1%減となった。県内投資額は16億55百万円（同17億92百万円）となっている。

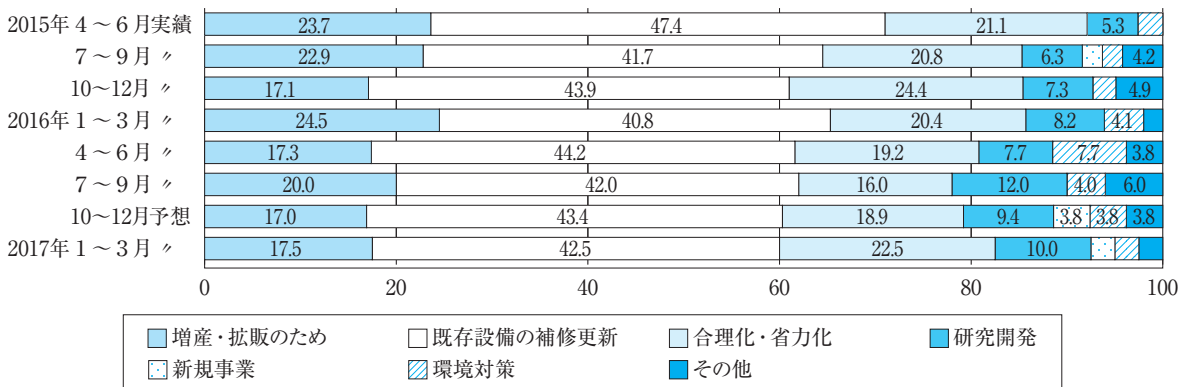
目的別にみると、前期と比べ、「合理化・省力化」の比率が上昇、「拡販のため」がほぼ横ばい、「既存設備の補修更新」が低下となっている。

先行きの計画については、10～12月期の総投資額は約28億円で前年同期比7.0%増の一方、2017年1～3月期は約27億円で同8.1%減となる見込みである。

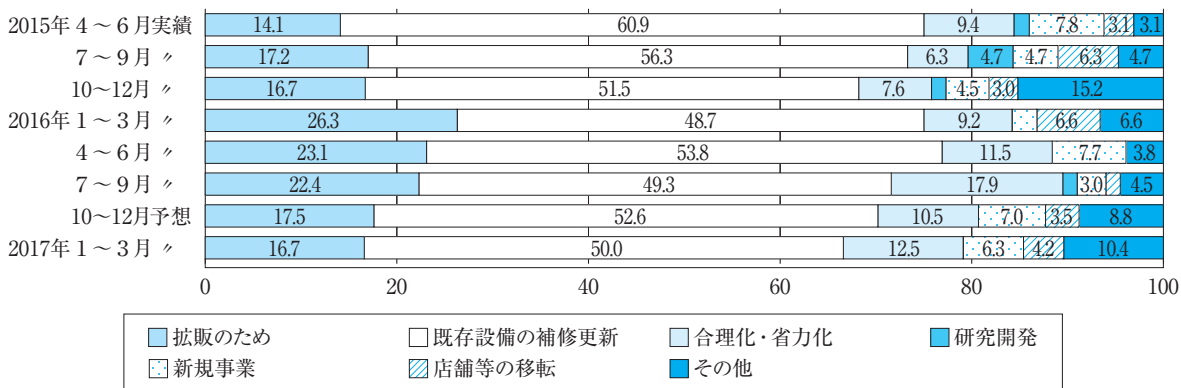
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合（11.4%）が「減らしたい」とする企業割合（15.2%）より3.8ポイント下回り、4期連続で低下した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	1	1	0
	1～3百万円未満	1	1	0
	3～5百万円未満	5	1	4
	5～10百万円未満	3	1	2
	10～50百万円未満	115	31	84
	50～1億円未満	41	16	25
	1億円以上	26	9	17
	計	192	60	132
従業員数	10人未満	19	7	12
	10～30人未満	42	10	32
	30～50人未満	40	12	28
	50～100人未満	35	7	28
	100～200人未満	29	9	20
	200～300人未満	11	7	4
	300～	16	8	8
計	192	60	132	

		(社)	
業種		回答	
製造業	食料品	9	
	繊維製品	4	
	木材・木製品	11	
	パルプ・紙	2	
	化学工業	7	
	窯業・土石	5	
	機械・金属	15	
	その他	7	
	計	60	
非製造業	建設業	16	
	運送業	12	
	卸売業	39	
	小売業	25	
	サービス業	39	
	その他	1	
計	132		
総数	192		

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2015年1～3月実績	16	53	31	△15	9	48	43	△34	20	54	26	△6
4～6月々	16	56	28	△12	20	46	34	△14	14	60	26	△12
7～9月々	12	63	25	△13	12	57	31	△19	11	67	22	△11
10～12月々	21	59	20	1	18	55	27	△9	22	61	17	5
2016年1～3月々	13	58	29	△16	7	57	36	△29	16	57	27	△11
4～6月々	17	53	30	△13	19	56	25	△6	16	52	32	△16
7～9月々	9	64	27	△18	8	62	30	△22	9	66	25	△16
10～12月予想	21	64	15	6	17	65	18	△1	23	64	13	10
2017年1～3月々	9	68	23	△14	3	75	22	△19	11	66	23	△12

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2015年1～3月実績	28	36	36	△8	22	33	45	△23	31	36	33	△2
4～6月々	29	34	37	△8	31	31	38	△7	28	36	36	△8
7～9月々	27	45	28	△1	32	36	32	0	25	49	26	△1
10～12月々	41	37	22	19	43	30	27	16	41	39	20	21
2016年1～3月々	28	35	37	△9	19	34	47	△28	32	35	33	△1
4～6月々	27	34	39	△12	29	33	38	△9	26	34	40	△14
7～9月々	26	42	32	△6	20	43	37	△17	28	42	30	△2
10～12月予想	35	46	19	16	35	50	15	20	36	43	21	15
2017年1～3月々	18	53	29	△11	12	61	27	△15	21	49	30	△9

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2015年1～3月実績	26	37	37	△11	22	26	52	△30	28	41	31	△3
4～6月々	24	40	36	△12	28	33	39	△11	22	43	35	△13
7～9月々	27	44	29	△2	29	32	39	△10	26	49	25	1
10～12月々	36	43	21	15	35	38	27	8	36	45	19	17
2016年1～3月々	26	40	34	△8	20	43	37	△17	29	38	33	△4
4～6月々	26	35	39	△13	29	33	38	△9	25	36	39	△14
7～9月々	25	41	34	△9	25	40	35	△10	25	42	33	△8
10～12月予想	33	47	20	13	30	48	22	8	34	46	20	14
2017年1～3月々	18	56	26	△8	13	65	22	△9	20	52	28	△8

(注) B S I = (好転) - (悪化)